

個人情報取扱事務の諮問事案書（重要事項の諮問）

オンライン結合を行う事務の名称	障がい者相談支援事業（委託事業） ・委託先：障がい者総合相談支援センタークローバー ・委託先構成：社会福祉法人「永耕会」、社会福祉法人「風祭の森」、公益財団法人「積善会」、社会福祉法人「宝安寺社会事業部」	
事務所管課の等	障がい福祉課	
オンライン結合による取扱い個人情報	類型	障がい者相談支援事業利用者及びその家族、関係者等
	項目名	住所、氏名、性別、生年月日、職業、連絡先（電話・FAX番号及びメールアドレス）、障害内容、障害支援区分、介護度、疾患名、受診先、利用中の障害福祉サービス等
オンライン結合の概要	結合の当事者名	障がい者総合相談センタークローバー 【情報管理事業者①②】 ①（クラウドサービス事業者（㈱サンオーコミュニケーションズ）） ②（バックアップデータ保存事業者（(社福)宝安寺社会事業部））
	使用回線の形態	<input type="checkbox"/> 専用回線() <input checked="" type="checkbox"/> 共用回線(インターネットVPN・PPPOE接続)
	個人情報の流れ	①相談支援システム導入によるクラウドサービスの利用 ・クラウド専用サービスである、障がい者相談支援業務サポートシステム[ミラクルQ]の利用契約を結ぶ。 ・受託事業者の端末から、システムを経由してクラウドサービス事業者のサーバにアクセスをする。 ・受託事業者がサーバ上に利用者情報を入力し、利用者管理を行う。 ②相談支援システム導入前他のデータバックアップ ・システム導入前の相談記録等の情報は、同システムにて保管ができないため、受託事業者の本部サーバとつなぎバックアップ保存する。 ・システム以外の個人情報が含まれるデータ（事業の参加者リストなど）についても、同様のバックアップを行う。
オンライン結合を行う理由（公益上の必要性）	・当課の委託事業である障がい者相談支援事業は、相談者数が年々増加している。多くの相談支援に迅速に対応するため、多種多様な情報を管理するシステムや、過去の相談歴等の情報を迅速に引き出せる環境が必要である。 ・受託事業者が、他の相談業務でシステムを導入しており、有効性を確認している。	
安全確保措置（個人の権利利益を侵害するおそれがないようにすること）	①インターネットにはPPPOE接続を使用。ルータにはIPフィルターを設定し、アクセス可能な範囲を制限。アンチウイルスソフトの導入、パスワードとファイアウォールの設定を全端末に実施。不正アクセス等に対する防衛措置を強化している。 ①クラウドサービス事業者のサーバは国内のデータセンターに保管されている。許可された者以外の入館が制限されており、警備員が常駐している。通信路はSSLにより暗号化されている。 ②受託事業者本部にあるバックアップ用サーバは、施錠された専用の部屋で法人全体のバックアップデータを保管している。	
開始時期	令和4年10月1日	

オンライン結合関係図

